

ブラフマニズムとヒンドゥイズム

南アジアの社会と宗教の連続性と非連続性

第5回
シンポジウム

古典インドの 哲学と学問

— 始まりと展開 —

最初のウパニシャッドはどのように生まれたのか 藤井 正人

ヴェーダ祭式とパーニニ文法学 尾園 絢一

神の名の意味を知ること 川村 悠人・堂山 英次郎
— 神名アグニ(agni)の分析に見るヤースカの語源学と神学

インド密教におけるホーマ儀礼について 菊谷 竜太

後期アドヴァイタ学派におけるbhakti論 眞鍋 智裕

14または18の学問 (vidyāsthāna) について 吉水 清孝



2018.

10/7・8 日 月

京都大学

7日(日): 14:00~18:20 / 8日(月): 10:00~12:20

芝蘭会館 [別館] 研修室2

お問合せ: 電話 075-753-6949 (藤井正人研究室) メール fujii@zinbun.kyoto-u.ac.jp (藤井) / h-teshima@po.kbu.ac.jp (手嶋)



主催: 京都大学人文科学研究所共同研究 「ブラフマニズムとヒンドゥイズム—南アジアの社会と宗教の連続性と非連続性」 (班長・藤井正人, 副班長・手嶋英貴)
共催: 科学研究費補助金基盤研究B 「ヴェーダからポスト・ヴェーダの宗教・文化の共通基盤と重層性の研究」 (研究代表者・梶原三恵子 17H02268)
科学研究費補助金基盤研究B 「南インド希少ヴェーダ学派の文献集成と翻訳研究」 (研究代表者・藤井正人 25284011)

古典インドの哲学と学問

始まりと展開

2018年 10月7日(日) 10月8日(月) **京都大学**

芝蘭会館 [別館] 研修室2

<http://www.shirankai.or.jp/facilities/access/index.html>
TEL: 075-771-0958

アクセス: 京大正門前 (市バス:31・201・206 系統) 徒歩2分
京阪電車 出町柳駅 (2・4 出口) 徒歩15分

タイムスケジュール

10/7 (日) 14:00	開 会
14:10~	講 演
14:10-15:00	藤井 正人
15:00-15:50	尾園 絢一
15:50-16:00	小休憩
16:00-16:50	川村 悠人 堂山 英次郎
16:50-17:40	菊谷 竜太
17:40-18:20	ディスカッション
10/8 (月) 10:00~	講 演
10:00-10:50	眞鍋 智裕
10:50-11:40	吉水 清孝
11:40-12:20	ディスカッション
12:20	閉 会

お問い合わせ

電 話: 藤井正人研究室

075-753-6949

メール: fujii@zinbun.kyoto-u.ac.jp (藤井)
h-teshima@po.kbu.ac.jp (手嶋)

主 催

京都大学人文科学研究所共同研究 (班長・藤井正人、副班長・手嶋英典)
「ブラフマニズムとヒンドウイズム」
— 南アジアの社会と宗教の連続性と非連続性 —

共 催

科学研究費補助金基盤研究 (B) (代表・梶原三恵子 17H02268)

「ヴェーダからポスト・ヴェーダの
宗教・文化の共通基盤と重層性の研究」

科学研究費補助金基盤研究 (B) (代表・藤井正人 25284011)

「南インド希少ヴェーダ学派の
文献集成と翻訳研究」

最初のウパニシャッドはどのように 生まれたのか



藤井 正人

祭式から哲学への扉を最初に開けたサーマ・ヴェーダ系ウパニシャッド『ジャイミニヤ・ウパニシャッド・ブラーフマナ』の誕生の全体像を描く。

ヴェーダ祭式とパーニニ文法学



尾園 絢一

パーニニが教えるヴェーダ祭式の語法とシュラウターストラの記述とを照合し、パーニニ文法学とヴェーダ諸学派の関係解明に向けて問題提起を行う。

神の名の意味を知ること

— 神名アグニ(agnī)の分析に見るヤースカの語源学と神学



川村 悠人・堂山 英次郎

古の言語学者ヤースカ(紀元前5~前4世紀頃)が示す神名アグニの分析と火神という神の位置づけを手掛かりに、彼が体系化した語源学の方法論と目的を問う。

インド密教におけるホーマ儀礼について



菊谷 竜太

アバヤーカラグプタ(11~12世紀頃)のホーマ儀軌『光の花房』Jyotirmañjarīを中心に、アバヤーカラグプタ自身が参照したと考えられる文献を対照しながらインド密教最晩期におけるホーマ儀礼の実像を探る。

後期アドヴァイタ学派におけるbhakti論



眞鍋 智裕

Sadānanda Kāśmīraka (18世紀頃)のSvarūpaprakāśaに見られるbhakti論をMadhusūdana Sarasvatī (16世紀頃)以降のアドヴァイタ学派の先行テキストと比較・分析することによって、後期アドヴァイタ学派のbhakti論の展開を考察する。

14または18の学問 (vidyāsthāna) について



吉水 清孝

4ヴェーダと6ヴェーダ補助学に4または8の学問を加え14または18とする「知の居所・学問分野」(vidyāsthāna)の分類がどのように形成されたかを考察する。